

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 12 月 9 日 (2021.12.9)

【公開番号】特開 2021-152077 (P2021-152077A)

【公開日】令和 3 年 9 月 30 日 (2021.9.30)

【年通号数】公開・登録公報 2021-047

【出願番号】特願 2021-110038 (P2021-110038)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/341 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/341

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 1 日 (2021.11.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

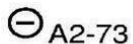
レセプタータイプ 1 細胞として細胞を分類することにおいて、

【化 1 A】



テトラヒドロ - N , N - ジメチル - 2 , 2 - ジフェニル - 3 - フランメタンアミンヒドロ
クロリド (

【化 1 B】



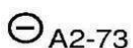
) を使用する方法であって、

(i) 前記細胞を、既知の レセプター結合リガンドに十分に結合させることと；

(i i) 前記細胞に結合した前記既知の レセプター結合リガンドの量を測定し、した
がって、コントロール特異的結合を得ることと；

(i i i) 前記十分に結合した細胞を、検出可能な量の

【化 1 C】



を含み、

【化 2 A】



テトラヒドロ - N , N - ジメチル - 2 , 2 - ジフェニル - 3 - フランメタンアミンヒドロ
クロリド (

【化 2 B】

⊕ A2-73

を実質的に含まない組成物に曝すことと；

(i v) 前記検出可能な量の

【化 1 D】

⊖ A2-73

の存在下で前記細胞になお結合している前記既知の レセプター結合リガンドの量を測定し、したがって、阻害性結合を得ることと；

(v) 前記コントロール特異的結合と前記阻害性結合の間の差に基づいて、阻害性結合率を計算することと；

(v i) 前記計算した阻害性結合率が 5 0 % 以上の場合、前記細胞を レセプタータイプ 1 として分類することと

を含む、方法。

【請求項 2】

前記既知の レセプター結合リガンドが (+) - ペンタゾシンまたは (+) - S K F - 1 0 , 0 4 7 を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記組成物が

【化 2 C】

⊕ A2-73

を実質的に含まず、

【化 1 E】

⊖ A2-73

に関して 2 % (w / w) 未満を構成する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

【化 1 F】

⊖ A2-73

の前記検出可能な量が、 0 . 5 m g ~ 1 0 0 m g を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

【化 1 G】

⊖ A2-73

の前記検出可能な量が、 1 ~ 2 0 m g を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

必要とする被験体において 1 レセプターの刺激を増強するための医薬の製造における、エナンチオマー (-) テトラヒドロ - N , N - ジメチル - 2 , 2 - ジフェニル - 3 - フランメタンアミンヒドロクロリド ((-) A 2 - 7 3) の使用。

【請求項 7】

前記医薬が

【化 2 D】

⊕

テトラヒドロ - N , N - ジメチル - 2 , 2 - ジフェニル - 3 - フランメタンアミンヒドロクロリド (

【化 2 E】

⊕ A2-73

）のエナンチオマーを実質的に含まない、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 8】

前記医薬が

【化 2 F】

⊕ A2-73

を実質的に含まず、

【化 1 H】

⊖ A2-73

に関して 2 % (w / w) 未満を構成する、請求項 7 に記載の使用。

【請求項 9】

前記医薬が 0 . 5 ~ 1 0 0 m g の (-) A 2 - 7 3 を含む、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 1 0】

前記医薬が 1 ~ 2 0 m g の (-) A 2 - 7 3 を含む、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 1 1】

前記 1 レセプターの刺激の増強が、アルツハイマー病、認知症、脳卒中、虚血、酸化的ストレス、神経毒性、またはこれらの組み合わせを含む疾患および障害に対する神経保護効果を誘発する、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 1 2】

必要とする被験体において 1 レセプターの刺激を増強するための、エナンチオマー (-) テトラヒドロ - N , N - ジメチル - 2 , 2 - ジフェニル - 3 - フランメタンアミンヒドロクロリド ((-) A 2 - 7 3) を含む組成物。

【請求項 1 3】

【化 2 G】

⊕

テトラヒドロ - N , N - ジメチル - 2 , 2 - ジフェニル - 3 - フランメタンアミンヒドロクロリド (

【化 2 H】

⊕ A2-73

）のエナンチオマーを実質的に含まない、請求項 1 2 に記載の組成物。

【請求項 1 4】

【化 2 I】

⊕ A2-73

を実質的に含まず、

【化 1 I】

⊖ A2-73

に関して 2 % (w / w) 未満を構成する、請求項 1 3 に記載の組成物。

【請求項 1 5】

0 . 5 ~ 1 0 0 m g の (-) A 2 - 7 3 を含む、請求項 1 2 に記載の組成物。

【請求項 1 6】

1 ~ 2 0 m g の (-) A 2 - 7 3 を含む、請求項 1 2 に記載の組成物。

【請求項 1 7】

前記 1 レセプターの刺激の増強が、アルツハイマー病、認知症、脳卒中、虚血、酸化ストレス、神経毒性、またはこれらの組み合わせを含む疾患および障害に対する神経保護効果を誘発する、請求項 1 2 に記載の組成物。